

2008年1月18日
株式会社日立製作所

廃棄処理過程におけるハードディスクドライブの流出について

株式会社日立製作所(執行役社長:古川一夫)が、東京消防庁より依頼を受けて、修理交換を行い、廃棄したビジネスPC(FLORAシリーズ)のハードディスクドライブ(以下、HDD)の一部が、その処理過程において、誤って中古品量販店に流出していたことが、2008年1月14日に判明しました。流出したHDDの一部には、東京消防庁のデータが含まれておりましたが、同日、当該品については回収しました。

今回の流出は、当社がHDDの修理および処理を委託している子会社が、動作不能と判断し、金属材料等のリサイクルを目的に売却したHDDの一部が、資源リサイクル業者から誤って外部に持ち出されたことにより発生したものです。

個人情報を含む情報の流出という事態を招き、東京消防庁をはじめ、皆さまに多大なるご迷惑とご心配をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

当社では、今回の事態を重く受け止め、こうした事態が二度と起こらないように、HDDをはじめIT機器の廃棄処理方法を見直すとともに、再発防止に全力で取り組む所存です。

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
